

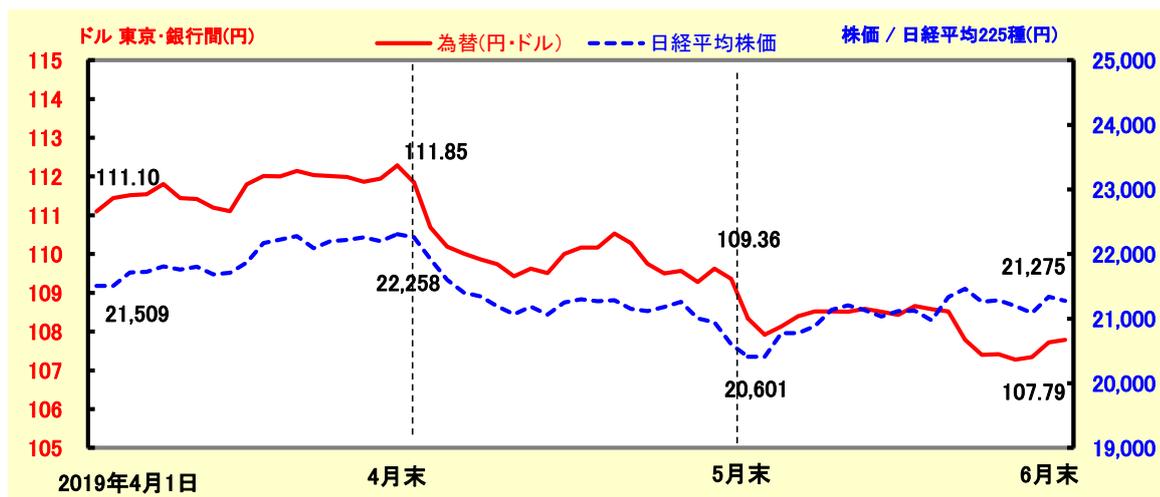
みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 2019年4月～6月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

2019年4～6月期の業況/2019年7～9月期の業況予想

今回の調査実施時期

2019年6月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	60先
卸売業	25先	サービス業	60先
建設業	22先	不動産業	17先

調査方法

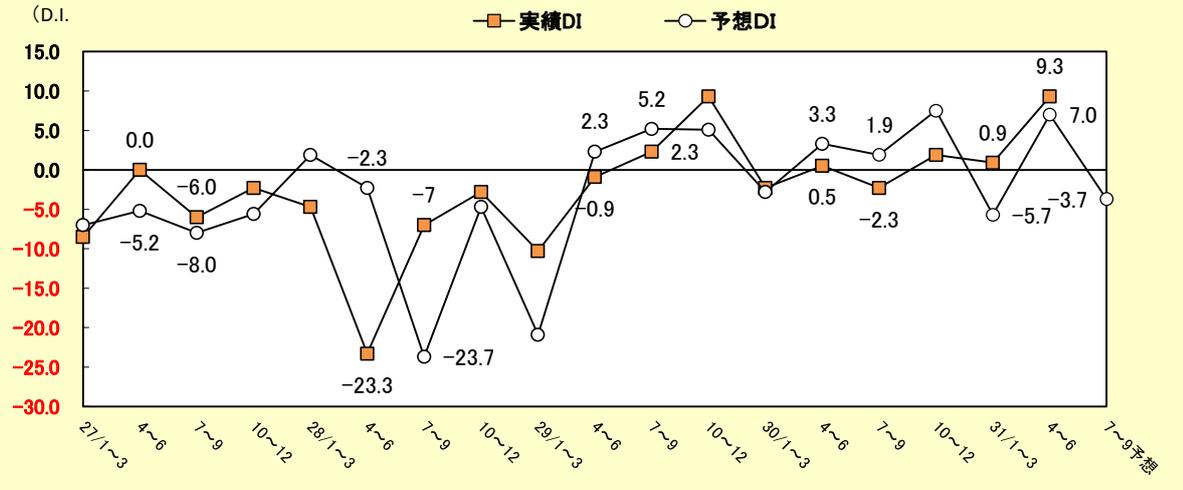
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



表の見方

業種別天気図



	4~6月期実績				7~9月期予想			
	総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総合	9.3	13.2	6.0	7.7	▲3.7	▲11.0	▲1.2	7.5
製造業	9.6	0.0	20.0	20.0	▲6.4	▲25.0	20.0	10.0
小売業	▲3.3	0.0	▲11.5	12.5	▲16.6	▲15.3	▲23.0	0.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲4.0	▲11.1	▲10.0	16.6
サービス業	15.2	17.8	14.2	0.0	0.0	▲10.7	7.1	25.0
建設業	18.1	60.0	22.2	▲12.5	22.7	60.0	22.2	0.0
不動産業	35.2	57.1	16.6	25.0	0.0	▲14.2	16.6	0.0

4月~6月の県内経済概況

4月~6月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは9.3となり、前期比8.4ポイント上昇となっています。業種別の状況を見ると、製造業は9.6となり、前期比22.5ポイント上昇、小売業は▲3.3となり、前期比5.1ポイント上昇、卸売業は0.0となり、前期比8.3ポイント下降、サービス業は15.2となり、前期比18.5ポイント上昇、建設業は18.1となり、前期比13.7ポイント下降、不動産業は35.2となり、前期比11.7ポイント上昇となっています。

地域別では、別府地区が13.2となり、前期比17.7ポイント上昇、大分地区が6.0となり、前期比1.2ポイント上昇、県北地区が7.7となり、前期比2.7ポイント上昇となっています。

業種別景況

製造業

● 当期(4月～6月)の景況

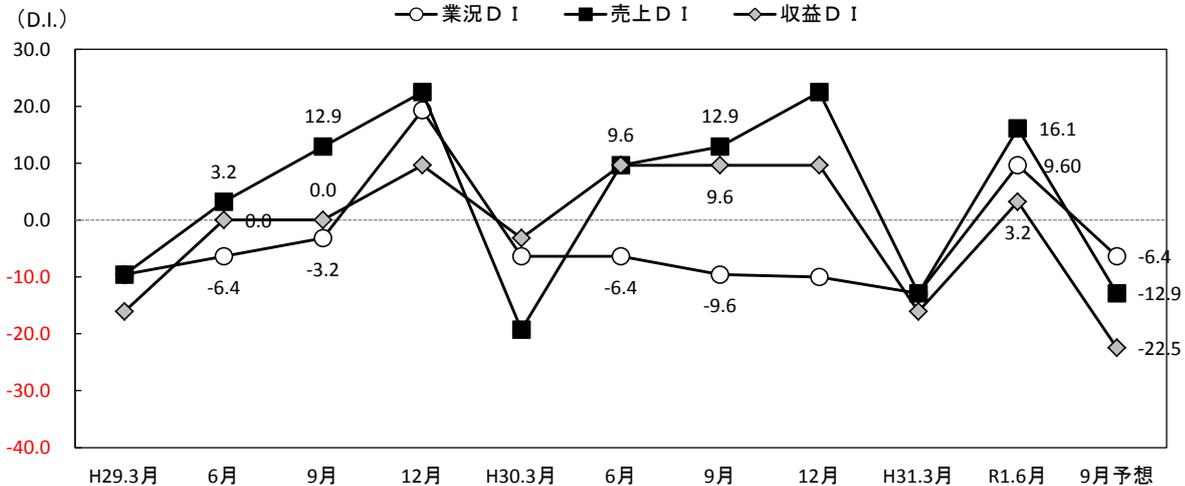
全域における業況DIは9.6となり、前期比22.5ポイント上昇、前年同期比16.0ポイント上昇となっています。売上DIは16.1となり、前期比29.0ポイント上昇、前年同期比6.5ポイント上昇となっています。収益DIは3.2となり、前期比19.3ポイント上昇、前年同期比6.4ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期と同水準、大分地区が20.0となり、前期比40.0ポイント上昇、前年同期比60.0ポイント上昇、県北地区が20.0となり、前期比10.0ポイント上昇、前年同期比20.0ポイント上昇となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは▲6.4となり、今期比16.0ポイント下降となっています。売上予想DIは▲12.9となり、今期比29.0ポイント下降となっています。収益予想DIは▲22.5となり、今期比25.7ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲25.0、大分地区が20.0、県北地区が10.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	20.2%
同業者間の競争激化	11.5%
原材料高	11.5%
人手不足	10.1%
工場・機械の狭小・老朽化	10.1%

最重要経営施策

販路拡大	27.9%
経費節減	14.7%
人材確保	14.7%
機械化推進	7.3%
情報力強化	5.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- 競合店の出店およびコンビニ商品の台頭により売上は年々減少傾向にある。永年の人気名物商品の認知度は高く一定の売り上げは確保されている。後継者難であり廃業も視野に入れている。(食料品)
- 旅館ホテルの宿泊者数の増加に伴い注文が安定的かつ増加傾向にある。また大口取引先であるホテルが利益率の高い商品(焼き豆腐)を継続的に購入してくれている。(豆腐)
- 同業者間の競争や人材の高齢化、設備の老朽化等により業況に与える影響は大きい。不採算部門の見極めやコスト削減による業況改善に取り組む。(和菓子・パン製造販売)
- 家族経営であり、売上は停滞している。(竹製品)
- 今期は天候不順による白菜の高騰があり、収益が取れず厳しい状態が続いた。来期は大口の新規顧客との契約が成立予定であり、期待している。(漬物)

小 売 業

● 当期(4月～6月)の景況

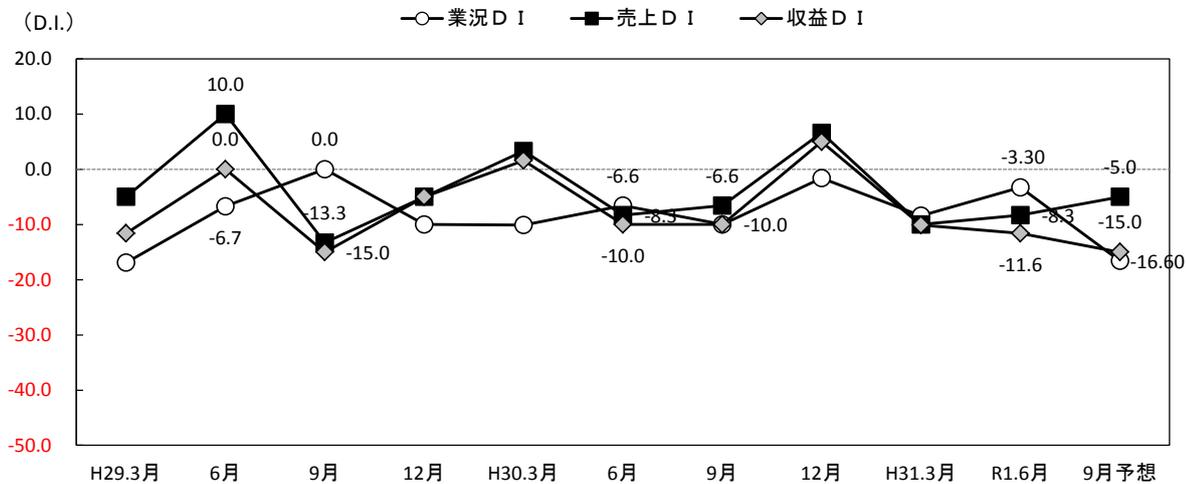
全域における業況DIは▲3.3となり、前期比5.1ポイント上昇、前年同期比3.3ポイント上昇となっています。売上DIは▲8.3となり、前期比1.7ポイント上昇、前年同期と同水準となっています。収益DIは▲11.6となり、前期比1.5ポイント下降、前年同期比1.6ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比4.0ポイント上昇、前年同期と同水準、大分地区が▲11.5となり、前期比3.9ポイント下降、前年同期と同水準、県北地区が12.5となり、前期比37.5ポイント上昇、前年同期比25.0ポイント上昇となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは▲16.6となり、今期比13.3ポイント下降となっています。売上予想DIは▲5.0となり、今期比3.3ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲15.0となり、今期比3.4ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲15.3、大分地区が▲23.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	21.5%
大型店競争激化	15.1%
同業者間の競争激化	10.7%
利幅縮小	10.7%
人手不足	10.0%

最重要経営施策

経費節減	60.0%
品揃え改善	53.3%
売筋商品取扱	31.1%
宣伝・広告強化	26.6%
人材確保	26.6%

経営者のみなさまの主なコメント

○業況は変わらずで推移している。バイクの購入者は40～50歳代が増えている。(オートバイ)

○業況は前年並みであるが近隣に大型店のスーパーマーケットや飲食店が多く競争は厳しい。(洋菓子)

○近隣に大手チェーンのディスカウントストアがオープンしたが、現状ではそれほど大きな影響はない。(飲食料品)

○消費者ニーズの変化、コンビニ販売の台頭により需要は減少傾向にある。地場大手葬祭場への納入については競合も多く利益率も低い。永年取引の旅館ホテルへの配達による納品にて売り上げを確保している。(お茶販売)

○観光地の旅館ホテルとの取引を主体として競合が多く供給過多の状態にある。ワインに特化しているものの、知名度が高く入手困難な地酒や焼酎人気もブームを過ぎた。永年取引の飲食店等への配達にて売り上げを確保している。(酒類販売)

○インターネットおよび電子書籍の普及により販売部数は年々減少傾向にある。別府駅前通りの好立地条件により外国人観光客の購入は増加している。永年取引の飲食店等への配達による納品にて売上を確保している。(書籍販売)

卸 売 業

● 当期(4月～6月)の景況

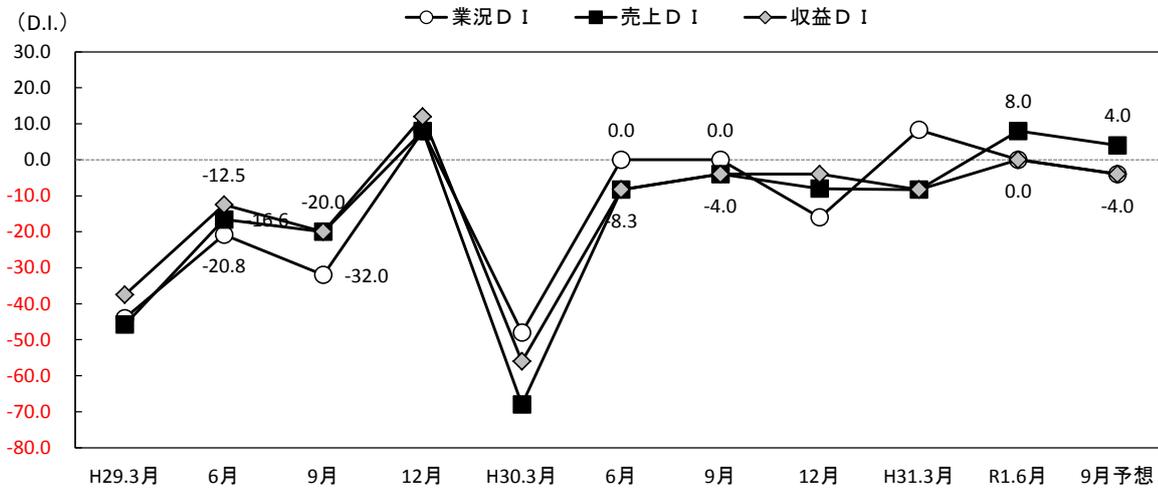
全域における業況DIは0.0となり、前期比8.3ポイント下降、前年同期と同水準となっています。売上DIは8.0となり、前期比16.3ポイント上昇、前年同期比16.3ポイント上昇となっています。収益DIは0.0となり、前期比8.3ポイント上昇、前年同期比8.3ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比12.5ポイント下降、前年同期と同水準、大分地区が0.0となり、前期と同水準、前年同期比10.0ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期比16.6ポイント下降、前年同期比16.6ポイント下降となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは▲4.0となり、今期比4.0ポイント下降となっています。売上予想DIは4.0となり、今期比4.0ポイント下降となっています。収益予想DIは▲4.0となり、今期比4.0ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲11.1、大分地区が▲10.0、県北地区が16.6となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	18.1%
売上停滞・減少	10.9%
利幅縮小	10.9%
人手不足	10.9%
販売納入先からの値下要請	7.2%

最重要経営施策

販路拡大	33.3%
経費節減	22.2%
情報力強化	17.7%
人材確保	8.8%
品揃えの充実化	6.6%

経営者のみなさまの主なコメント

- 仕入れ先から値上げの通知があり、売値を上げざるを得ない。既存先によく理解してもらい値上げを行いたい。(生活用品卸)
- 販売納入先からの値上げ要請が多く、他社にとられないようにする対応が難しい。(木材販売)
- 消費税増税後の売り上げが心配。(建築・土木材料卸)
- 業況に大幅な変化はない。(青果)
- 天候の影響が大きく、天候不良が続くと厳しい。(ちりめん)

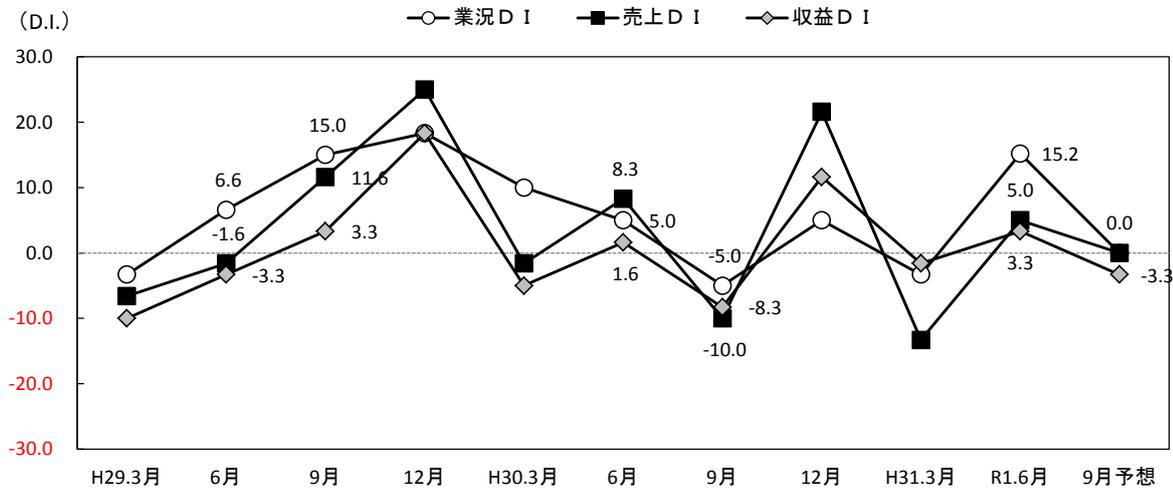
サービス業

● 当期(4月～6月)の景況

全域における業況DIは15.2となり、前期比18.5ポイント上昇、前年同期比10.2ポイント上昇となっています。売上DIは5.0となり、前期比18.3ポイント上昇、前年同期比3.3ポイント下降となっています。収益DIは3.3となり、前期比4.9ポイント上昇、前年同期比1.7ポイント上昇となっています。
 地域別の業況DIでは、別府地区が17.8となり、前期比24.9ポイント上昇、前年同期比14.3ポイント上昇、大分地区が14.2となり、前期比14.2ポイント上昇、前年同期比3.5ポイント上昇、県北地区が0.0となり、前期と同水準、前年同期比25.0ポイント上昇となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは0.0となり、今期比15.2ポイント下降となっています。売上予想DIは0.0となり、今期比5.0ポイント下降となっています。収益予想DIは▲3.3となり、今期比6.6ポイント下降となっています。
 地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲10.7、大分地区が7.1、県北地区が25.0となっています。



経営上の問題点

同業者間の競争激化	19.8%
人手不足	18.2%
売上停滞・減少	9.5%
人件費増加	9.5%
商圏人口減少	6.3%

最重要経営施策

販路拡大	17.7%
人材確保	16.9%
経費節減	13.7%
宣伝・広告強化	13.7%
提携先探す	6.4%

経営者のみなさまの主なコメント

- 原材料の高騰がなければ経営は安定している。(クリーニング)
- 現状は固定客が多く売上は安定しているが、今後、高齢化と人口減少により、売上減少が予想される。広告宣伝を強化し新規顧客獲得を行っていく。(美容室)
- 昨年末に機械設備を一新したことにより、作業効率が良くなった。時間短縮にもつながり、退社時間に追われることが少なくなった。(貸おしほり)
- 対人業種であり、専門的な知識や技術を持った人材の確保が課題である。(通所リハビリ)
- 看板商品は地元住民から根強い人気がある。現在、経営改善中である。(食品製造業)
- 住宅街にある老舗理容室。主なお客は昔からの顧客であり、男性専用の理容室。地域の顧客の高齢化に伴い顧客減少傾向。(理髪)
- 市内の宿泊施設増加により競争激化が予想されるためサービスと設備投資の検討を行っている。(宿泊)
- 老舗旅館であり、数年前に改装済み。顧客の集客に努力している。(旅館)
- 旅館内にジム設備を作り、集客を図ろうと考えている。(旅館)
- 別府を代表する観光施設でインバウンドのお客様が非常に多い。(観光施設の運営)

建設業

● 当期(4月～6月)の景況

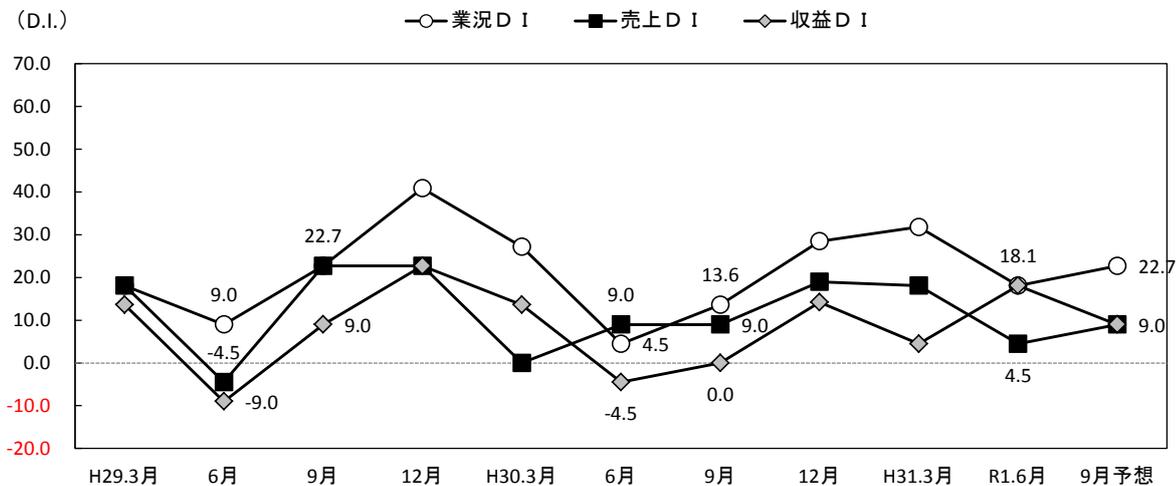
全域における業況DIは18.1となり、前期比13.7ポイント下降、前年同期比13.6ポイント上昇となっています。売上DIは4.5となり、前期比13.6ポイント下降、前年同期比4.5ポイント下降となっています。収益DIは18.1となり、前期比13.6ポイント上昇、前年同期比22.6ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が60.0となり、前期比20.0ポイント上昇、前年同期比40.0ポイント上昇、大分地区が22.2となり、前期比33.3ポイント下降、前年同期比22.2ポイント上昇、県北地区が▲12.5となり、前期比12.5ポイント下降、前年同期比12.5ポイント下降となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは22.7となり、今期比4.6ポイント上昇となっています。売上予想DIは9.0となり、今期比4.5ポイント上昇となっています。収益予想DIは9.0ポイントとなり、今期比9.1ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が60.0、大分地区が22.2、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	28.0%
同業者間の競争激化	20.0%
材料価格の上昇	10.0%
下請の確保難	8.0%
利幅縮小	8.0%

最重要経営施策

人材確保	31.9%
経費節減	19.1%
情報力強化	14.8%
販路拡大	14.8%
技術力向上	10.6%

経営者のみなさまの主なコメント

- この時期は、大型公共工事の発注制限により閑散期に該当するため売上が低下する。(土木工事)
- 工事の受注は安定しており業況は堅調に推移している。(建築工事)
- 業況は良好に推移している。(屋根工事)
- 受注量や収益については、前期並み。しかし毎年原材料価格が徐々に上がってきていることに不安を覚える。(建築)

不 動 産 業

● 当期(4月～6月)の景況

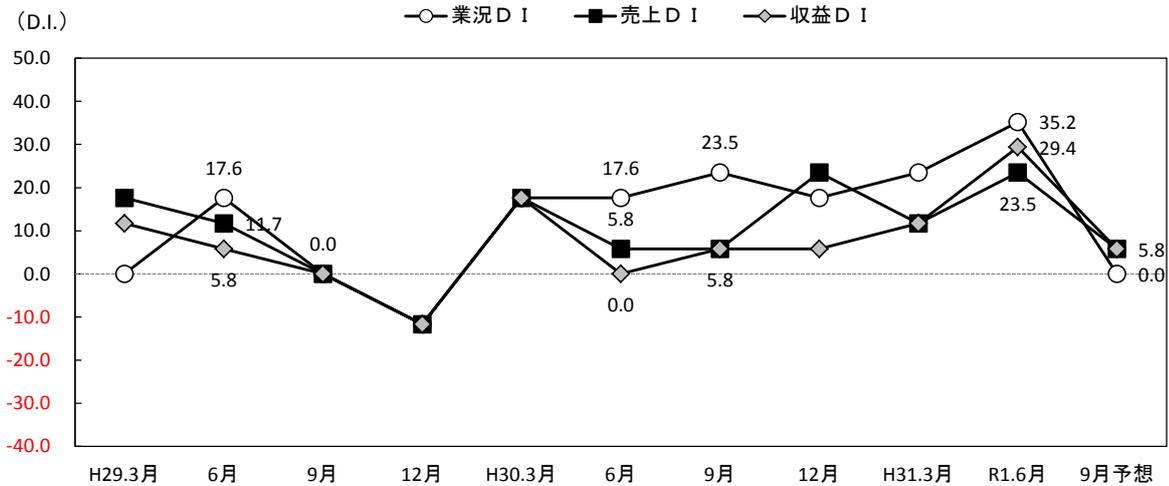
全域における業況DIは35.2となり、前期比11.7ポイント上昇、前年同期比17.6ポイント上昇となっています。売上DIは23.5となり、前期比11.8ポイント上昇、前年同期比17.7ポイント上昇となっています。収益DIは29.4となり、前期比17.7ポイント上昇、前年同期比29.4ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が57.1となり、前期比57.1ポイント上昇、前年同期比28.6ポイント上昇、大分地区が16.6となり、前期比16.7ポイント下降、前年同期比16.6ポイント上昇、県北地区が25.0となり、前期比25.0ポイント下降、前年同期と同水準となっています。

● 来期(7月～9月)の見通し

全域における業況予想DIは0.0となり、今期比35.2ポイント下降となっています。売上予想DIは5.8となり、今期比17.7ポイント下降となっています。収益予想DIは5.8となり、今期比23.6ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲14.2、大分地区が16.6、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	32.3%
商品物件不足	17.6%
人手不足	14.7%
利幅縮小	14.7%
大手企業との競争激化	5.8%

最重要経営施策

情報力強化	27.7%
宣伝・広告強化	22.2%
販路拡大	16.6%
提携先探す	13.8%
経費節減	8.3%

経営者のみなさまの主なコメント

- 従業員が育休からの復帰し、人手不足は解消されたが、営業が1名体制であり営業力強化が課題。(不動産売買・仲介)
- 家族経営。人手は適正。労働環境は良好。(不動産仲介・管理)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	4月～6月実績	9.3	9.6	△ 3.3	0.0	15.2	18.1	35.2
	7月～9月予想	△ 3.7	△ 6.4	△ 16.6	△ 4.0	0.0	22.7	0.0
売 上	4月～6月実績	4.7	16.1	△ 8.3	8.0	5.0	4.5	23.5
	7月～9月予想	△ 1.4	△ 12.9	△ 5.0	4.0	0.0	9.0	5.8
受 注 残	4月～6月実績	11.3	12.9	***	***	***	9.0	***
	7月～9月予想	△ 3.8	△ 6.4	***	***	***	0.0	***
施 工 高	4月～6月実績	13.6	***	***	***	***	13.6	***
	7月～9月予想	13.6	***	***	***	***	13.6	***
収 益	4月～6月実績	2.3	3.2	△ 11.6	0.0	3.3	18.1	29.4
	7月～9月予想	△ 7.5	△ 22.5	△ 15.0	△ 4.0	△ 3.3	9.0	5.8
販 売 価 格	4月～6月実績	8.2	12.9	6.6	3.4	13.3	4.5	0.0
	7月～9月予想	0.5	9.6	0.0	4.0	△ 4.4	△ 4.5	0.0
仕 入 価 格	4月～6月実績	19.5	32.2	16.6	16.0	18.3	22.7	11.7
	7月～9月予想	10.3	22.5	6.6	12.0	8.4	13.6	0.0
在 庫	4月～6月実績	0.6	3.2	0.0	△ 4.0	***	0.0	5.8
	7月～9月予想	△ 0.6	3.2	△ 1.6	4.0	***	0.0	△ 11.7
資 金 繰 り	4月～6月実績	△ 8.8	△ 19.3	△ 18.3	△ 12.0	△ 1.6	9.0	0.0
	7月～9月予想	△ 9.8	△ 22.5	△ 21.6	△ 4.0	△ 1.6	4.5	0.0
残 業 時 間	4月～6月実績	0.0	0.0	△ 5.0	0.0	3.3	0.0	5.8
	7月～9月予想	△ 2.3	△ 3.2	△ 6.6	0.0	1.6	△ 9.0	5.8
人 手 状 況	4月～6月実績	△ 25.1	△ 19.3	△ 18.3	△ 20.0	△ 30.0	△ 45.4	△ 23.5
	7月～9月予想	△ 26.0	△ 25.8	△ 20.0	△ 20.0	△ 28.3	△ 50.0	△ 17.6

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	4月～6月実績	13.2	0.0	0.0	0.0	17.8	60.0	57.1
	7月～9月予想	△ 11.0	△ 25.0	△ 15.3	△ 11.1	△ 10.7	60.0	△ 14.2
売 上	4月～6月実績	11.0	18.7	△ 7.6	22.2	7.1	40.0	42.8
	7月～9月予想	△ 8.8	△ 37.5	△ 11.5	33.3	△ 14.2	40.0	0.0
受 注 残	4月～6月実績	19.0	12.5	***	***	***	40.0	***
	7月～9月予想	△ 4.8	△ 18.7	***	***	***	40.0	***
施 工 高	4月～6月実績	40.0	***	***	***	***	40.0	***
	7月～9月予想	40.0	***	***	***	***	40.0	***
収 益	4月～6月実績	3.3	12.5	△ 11.5	0.0	△ 3.5	40.0	42.8
	7月～9月予想	△ 13.2	△ 37.5	△ 19.2	11.1	△ 14.2	40.0	0.0
販 売 価 格	4月～6月実績	15.4	18.7	19.2	11.1	21.4	0.0	△ 14.2
	7月～9月予想	4.4	12.5	7.6	11.1	△ 3.5	0.0	0.0
仕 入 価 格	4月～6月実績	24.2	37.5	26.9	11.1	28.5	0.0	0.0
	7月～9月予想	11.0	25.0	11.5	0.0	10.7	0.0	0.0
在 庫	4月～6月実績	1.6	6.2	0.0	0.0	***	0.0	0.0
	7月～9月予想	1.6	0.0	0.0	11.1	***	0.0	0.0
資 金 繰 り	4月～6月実績	△ 8.8	△ 18.7	△ 23.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	7月～9月予想	△ 13.2	△ 25.0	△ 30.7	11.1	△ 7.1	20.0	0.0
残 業 時 間	4月～6月実績	4.4	0.0	△ 3.8	0.0	7.1	40.0	14.2
	7月～9月予想	△ 2.2	△ 6.2	△ 7.6	0.0	0.0	0.0	14.2
人 手 状 況	4月～6月実績	△ 19.8	△ 6.2	△ 15.3	0.0	△ 35.7	△ 40.0	△ 14.2
	7月～9月予想	△ 20.9	△ 6.2	△ 19.2	0.0	△ 35.7	△ 40.0	△ 14.2

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	4月～6月実績	6.0	20.0	△ 11.5	0.0	14.2	22.2	16.6
	7月～9月予想	△ 1.2	20.0	△ 23.0	△ 10.0	7.1	22.2	16.6
売上	4月～6月実績	1.2	60.0	△ 15.3	△ 10.0	10.7	△ 11.1	16.6
	7月～9月予想	2.4	20.0	△ 7.6	△ 30.0	14.8	11.1	16.6
受注残	4月～6月実績	21.4	40.0	***	***	***	11.1	***
	7月～9月予想	△ 7.1	0.0	***	***	***	△ 11.1	***
施工高	4月～6月実績	11.1	***	***	***	***	11.1	***
	7月～9月予想	11.1	***	***	***	***	11.1	***
収益	4月～6月実績	6.0	0.0	△ 15.3	0.0	17.8	22.2	33.3
	7月～9月予想	△ 7.2	△ 20.0	△ 19.2	△ 20.0	3.7	0.0	16.6
販売価格	4月～6月実績	9.5	40.0	0.0	10.0	7.1	11.1	33.3
	7月～9月予想	1.2	0.0	△ 3.8	0.0	3.7	0.0	16.6
仕入価格	4月～6月実績	15.5	40.0	11.5	30.0	7.1	22.2	16.6
	7月～9月予想	8.4	20.0	3.8	20.0	7.4	11.1	0.0
在庫	4月～6月実績	1.7	0.0	3.8	0.0	***	0.0	0.0
	7月～9月予想	△ 1.8	0.0	0.0	0.0	***	0.0	△ 16.6
資金繰り	4月～6月実績	△ 6.0	△ 40.0	△ 11.5	△ 20.0	0.0	22.2	0.0
	7月～9月予想	△ 7.2	△ 40.0	△ 15.3	△ 20.0	0.0	22.2	0.0
残業時間	4月～6月実績	△ 1.2	20.0	△ 7.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	7月～9月予想	△ 1.3	20.0	△ 7.6	0.0	0.0	0.0	0.0
人手状況	4月～6月実績	△ 31.0	△ 20.0	△ 19.2	△ 50.0	△ 35.7	△ 22.2	△ 50.0
	7月～9月予想	△ 31.0	△ 40.0	△ 19.2	△ 50.0	△ 32.1	△ 33.3	△ 33.3

県北地区

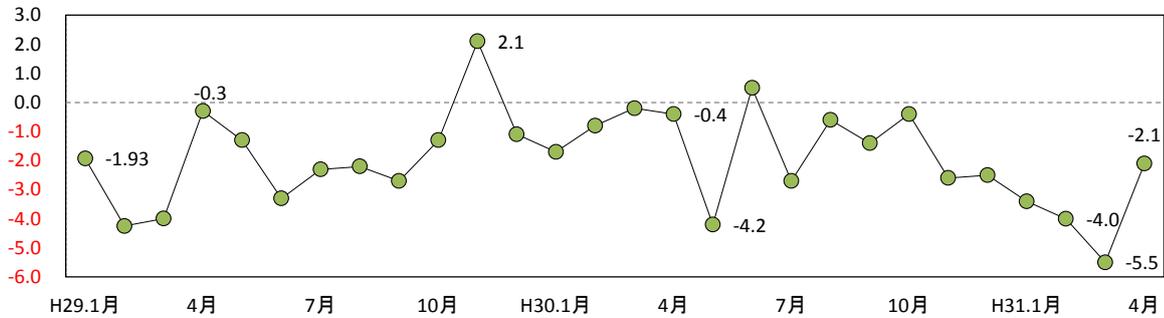
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	4月～6月実績	7.7	20.0	12.5	0.0	0.0	△ 12.5	25.0
	7月～9月予想	7.5	10.0	0.0	16.6	25.0	0.0	0.0
売上	4月～6月実績	△ 2.5	△ 10.0	12.5	16.6	△ 50.0	0.0	0.0
	7月～9月予想	7.5	10.0	25.0	16.6	0.0	△ 12.5	0.0
受注残	4月～6月実績	△ 5.6	0.0	***	***	***	△ 12.5	***
	7月～9月予想	0.0	10.0	***	***	***	△ 12.5	***
施工高	4月～6月実績	0.0	***	***	***	***	0.0	***
	7月～9月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収益	4月～6月実績	△ 7.5	△ 10.0	0.0	0.0	△ 50.0	0.0	0.0
	7月～9月予想	5.0	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0
販売価格	4月～6月実績	△ 10.0	△ 10.0	△ 12.5	△ 16.6	0.0	0.0	△ 25.0
	7月～9月予想	△ 5.0	10.0	△ 12.5	0.0	0.0	△ 12.5	△ 25.0
仕入価格	4月～6月実績	17.5	20.0	0.0	0.0	25.0	37.5	25.0
	7月～9月予想	12.5	20.0	0.0	16.6	0.0	25.0	0.0
在庫	4月～6月実績	△ 2.8	0.0	△ 12.5	△ 16.6	***	0.0	25.0
	7月～9月予想	△ 2.8	10.0	△ 12.5	0.0	***	0.0	△ 25.0
資金繰り	4月～6月実績	△ 15.0	△ 10.0	△ 25.0	△ 16.6	△ 25.0	△ 12.5	0.0
	7月～9月予想	△ 7.5	△ 10.0	△ 12.5	0.0	25.0	△ 25.0	0.0
残業時間	4月～6月実績	△ 7.5	△ 10.0	0.0	0.0	0.0	△ 25.0	0.0
	7月～9月予想	△ 5.0	△ 10.0	0.0	0.0	25.0	△ 25.0	0.0
人手状況	4月～6月実績	△ 25.0	△ 40.0	△ 25.0	0.0	50.0	△ 75.0	0.0
	7月～9月予想	△ 27.5	△ 50.0	△ 25.0	0.0	50.0	△ 75.0	0.0

県内大型小売店販売額

平成31年4月の大型小売店販売額は79億円で、前年同月比2.1ポイント下降となっています。品目別では、衣料品が前年同月比5.2ポイント下降、飲食料品が0.7ポイント上昇、その他の商品が4.7ポイント下降となっています。

(%) 大型小売店販売額(前年同月比)

(店舗調整前:経済産業省)

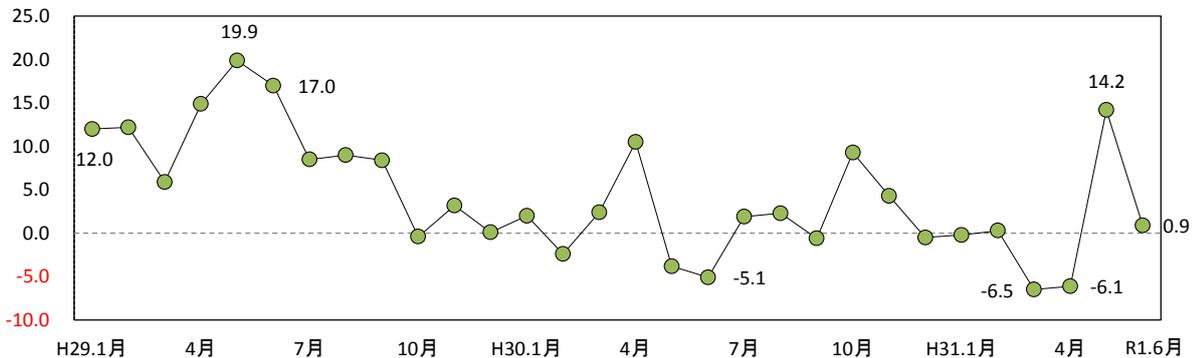


県内新車販売台数

令和元年6月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は4,644台で前年同月を0.9%上回りました。車種別では、普通乗用車が1,149台で前年同月比0.3%増、小型乗用車が1,076台で前年同月比1.9%増となりました。また、軽四輪車の合計は2,043台で前年同月比0.4%増となりました。

(%) 新車販売台数(前年同月比)

(日本自動車販売協会連合会大分県支部調)

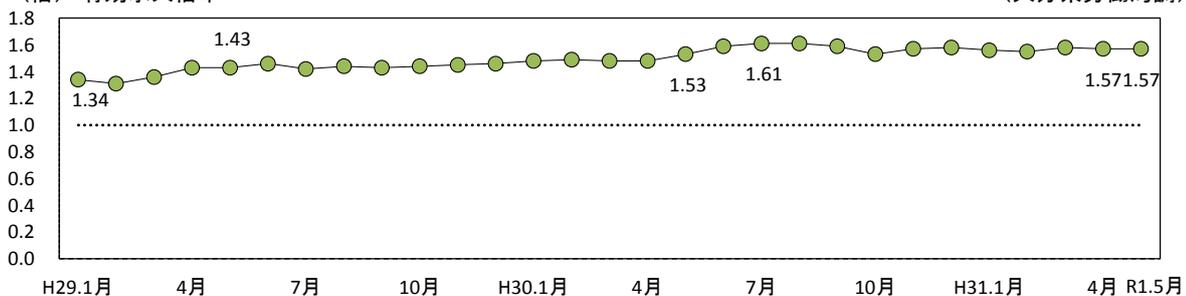


県内有効求人倍率

令和元年5月の有効求人倍率は、前月と同水準の1.57倍となりました。地域別でみると、大分管内1.63倍(前月比▲0.06ポイント)、別府管内1.13倍(前月比▲0.02ポイント)、中津管内1.45倍(前月比▲0.06ポイント)と高水準を維持しております。

(倍) 有効求人倍率

(大分県労働局調)

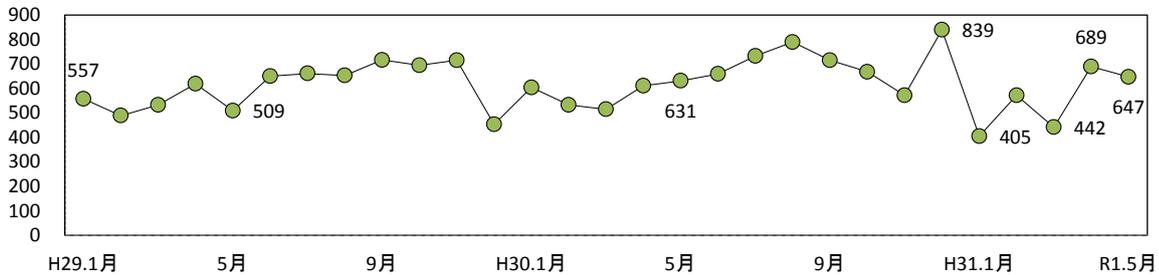


県内新設住宅着工戸数

令和元年5月の住宅着工戸数は647戸でした。そのうち、持家は256戸、貸家は189戸、分譲住宅は118戸となっています。

(戸) 大分県新設住宅着工戸数

(国土交通省調)



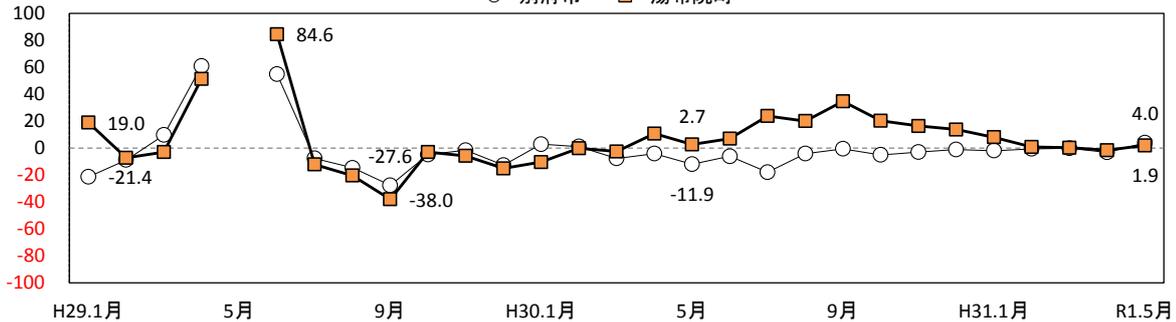
観光動向

令和元年5月の前年同月比宿泊人数は、別府地区で4.0ポイントの上昇、湯布院地区で1.9ポイントの上昇となりました。
 ※宿泊人員(前年同月比)の折れ線グラフでは、29年5月のデータを省略しております(28年5月は震災の影響により宿泊人員が大幅に落ち込んだため)。29年5月の前年同月比宿泊人員データは、別府地区+143.7%、湯布院地区+170.4%となっております。

(%) 宿泊人員(前年同月比)

○別府市 □湯布院町

(当金庫調)



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、平成31年4月の県内の企業倒産件数は1件で212百万円でした。令和元年5月は5件で429百万円、6月は6件で1,100百万円となっています。

(百万円) 企業倒産

金額 件数

(東京商工リサーチ大分支店調) (件数)

